

2021年6月10日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

DXを、その業務にも 用途に必要な機能を選り出した「BEPパッケージ」を開発 ～第一弾は点検、物流など5種、カスタマイズも自在～

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション)は、このたびドローンやロボット、各種センサーなどのデバイスを遠隔・目視外で自動制御・連携させる自社のデバイス統合プラットフォーム「Blue Earth Platform(以下、BEP)」を用途別に最適化した、「BEP パッケージ」を開発しました。業務や用途に必要な機能やデバイスをあらかじめ選り出し、いわば自動化機能の組み合わせとして業務へのドローンやロボットの導入、自動化、DX化などを円滑に支援します。

今回開発した BEP パッケージは、送電線点検、屋内点検(プラントなど)、物流、在庫管理、警備の5種類です。6/14(月)～15(水)に開催される「JapanDrone2021」(ブルーイノベーションブース:8ホール No.I-14 <https://www.blue-i.co.jp/japan-drone/>)でもご紹介します。



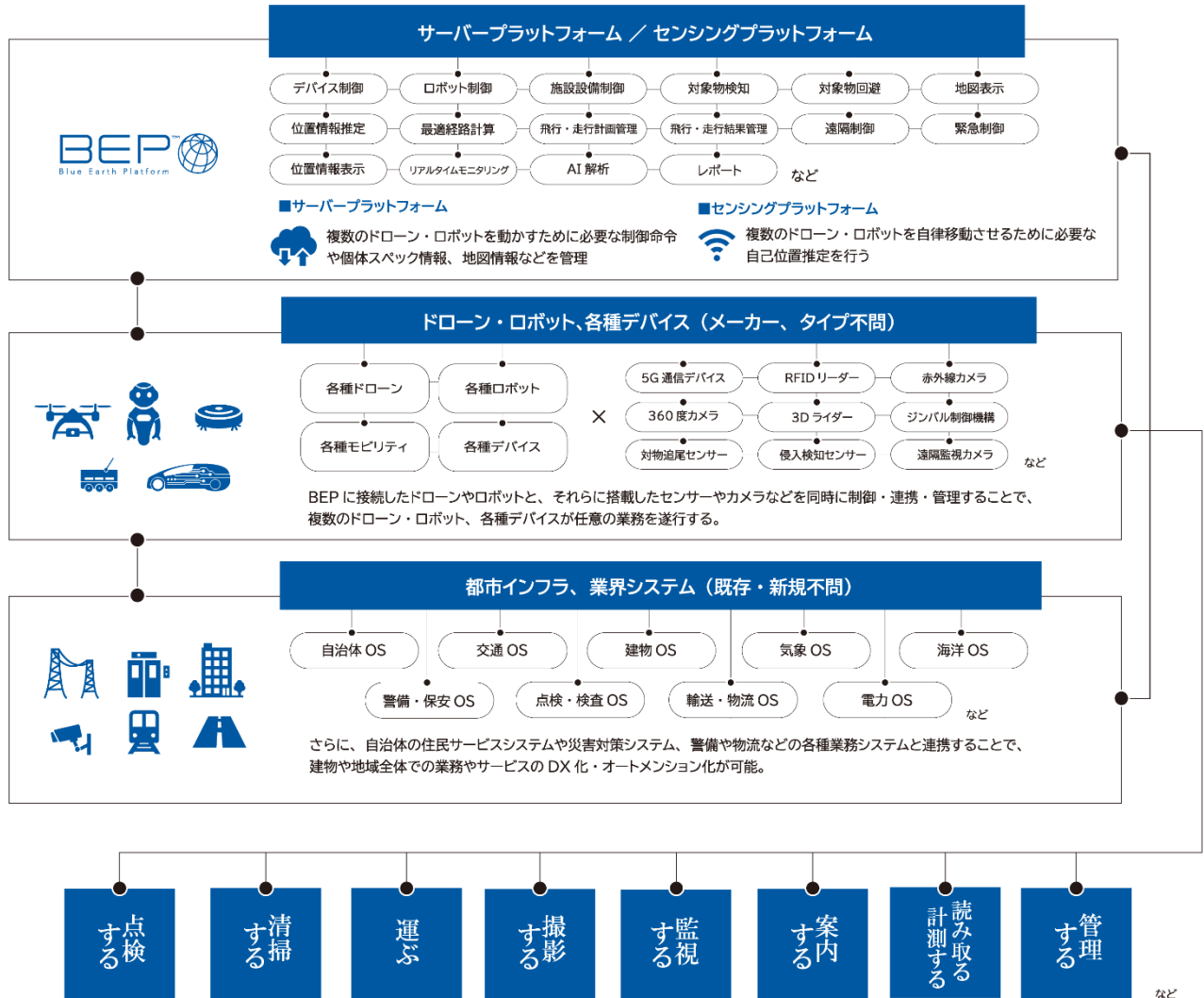
ブルーイノベーションはこれまで、国や自治体、企業などから、ドローンやロボットによる業務効率化や作業員の安全確保、コスト低減などの要望を数多くお受けし、それぞれの要望を叶えるソリューションを、BEPをベースに開発して参りました。これまでの開発で、目的ごとに用いられる機能には一定の傾向があることが分かっており、今回、業務や目的の達成に必要な機能やデバイスをあらかじめ選り出し、パッケージにしました。

BEPはドローンやロボット、センサーなど目的の異なるデバイスを連携させる役割を果たすプラットフォームです。メーカーや種類、システムの新規・既存を問わずに連携できる高い拡張性を有しており、既存のシステムと連携することで業務のオートメーション化やDX化が可能です。BEPパッケージは対象業務に最適化されているため、システム導入作業や時間、コストなどの負担が大幅に軽減でき、目的に合わせたシステム構築を最短の導入プロセスで実現できます。

ブルーイノベーションは今後、BEPパッケージのラインナップを拡充させ、種々の事業課題や社会課題を解決する新たなソリューション創出を積極的に進めていきます。

■Blue Earth Platformとは

Blue Earth Platform(BEP)は、ミッションをベースに複数のドローンやロボット、各種デバイスを遠隔・目視外で自動制御・連携させることができる、ブルーイノベーション独自のデバイス統合プラットフォームです。「One Command, Cross-Device, All Missions」をテーマに、複数のドローンやロボットを BEP で統合管理し、さらに各種OSやシステムと連携させることで、単体では成し得なかった広域での任意・複数のミッションを同時に遂行します。



多彩な選択肢から、自在な組み合わせが可能

■BEP パッケージとは

対象業務や目的に合わせて、BEP が持つ機能やドローンやロボットなどのデバイスを組み合わせ最適化しました。

それぞれの業務に特化した機能と必要なカスタマイズが施されているため、毎回煩雑な設定や操作をすることなく、BEP からのひとつの指示でドローンやロボットが自動的に業務を遂行します。これにより、人が行ってきた業務や作業の自動化や最適化、安全性の確保を実現します。



BEPライン

送電線点検ソフト+管理システム
+自動追従デバイス+点検デバイス

ボタンひとつで、ドローンが弛みのある送電線に沿って自動飛行。点検作業の効率化やコスト低減、作業員の安全性向上を実現します。



BEPインスペクション

プラント点検ソフト+管理システム
+5G エッジAI デバイス

5GデバイスとAIを搭載したドローンやロボットが施設内を巡回。設備や大量の点検画像データを高速かつリアルタイムに解析します。



BEPポート

物流ソフト+管理システム
+ドローンポートシステム

独自開発のドローンポートを起点にした物資輸送システムです。運航状況の監視や自動着陸誘導、着地点の安全確保までトータル運用します。



BEPインベントリー

倉庫棚卸ソフト+管理システム
+読み取りデバイス

RFID などのリーダーを搭載したドローンやロボットが在庫データを取得しながら自動的に倉庫内を巡回。人を介さない完全自動棚卸を実現します。



BEPセキュリティ

警備保安ソフト+管理システム
+自律飛行デバイス+データ収集デバイス

自動巡航するドローンやロボットがオフィス内の設定したコースを巡回。オフィススペースのセキュリティを強化します。

■ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区)

1999年6月設立。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである Blue Earth Platform(BEP)を軸に、以下ソリューションを開発・提供しています。 <http://www.blue-i.co.jp/>

- ・プラント・工場・水道インフラ DX ソリューション(スマート点検、3Dモデル化など)
- ・通信インフラ・フィールドメンテナンスソリューション(送電線・携帯基地局点検、森林測量など)
- ・流通・物流 DX ソリューション(倉庫内在庫管理、物流など)
- ・スマートオフィスソリューション(警備・防犯、監視など)
- ・人材育成・トレーニングソリューション(社内人材育成、子ども向けプログラミング、JUIDA ライセンス教育など)

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 PR マーケティング部

TEL:03-6801-8781 E-mail:press@blue-i.co.jp

【別紙】

■ブルーイノベーション Japan Drone 2021 出展内容

ブルーイノベーション Japan Drone 特設サイト <https://www.blue-i.co.jp/japan-drone/>
6月14日(月)～16日(水) @幕張メッセ 8ホール ブースNo.I-14



BEP パッケージによるソリューション事例紹介

カッコ内はブースプレゼンテーション(3日間共通)、★はデモフライト同時開催
スケジュールは予告なく変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

【Blue Earth Platform／BEP パッケージ | 15:00～15:15】

複数のドローンやロボットを統合管理し、さらに各種OSやシステムと連携させることで、単体では成し得なかった広域での任意・複数のミッションを同時遂行するデバイス統合プラットフォーム「Blue Earth Platform」と「BEP パッケージ」をご紹介します。

【プラント点検 | BEPインスペクション | ★11:00～11:15、★14:00～14:15、★16:00～16:15】

屋内点検向け球体ドローン ELIOS 2 のブース内デモ飛行および6月7日リリースの Inspector3.0^{※2} による「プラント点検」と「データ管理」。社内パイロット育成プログラムもご紹介します。

【自動点検 | BEPインスペクション | 12:00～12:15】

京セラ株式会社の5Gコネクティングデバイスを搭載した5G通信／エッジAIドローンによる「プラント自動点検ソリューション」をご紹介します。

【在庫管理 | BEPインベントリー | 12:00～12:15】

トッパン・フォームズ株式会社のRFIDリーダーを搭載したドローンでデータを取得。倉庫内棚卸作業のデジタル化・効率化を実現する「倉庫内在庫管理ソリューション」をご紹介します。

【送電線点検 | BEPライン | 13:00～13:15】

5月11日リリース、東京電力ホールディングス、東京電力パワーグリッド、テプコシステムズと共同開発。送電線に沿ってドローンが自動飛行・撮影する「送電線点検用ドローン自動飛行システム」をご紹介します。

【災害時物流 | BEPポート】

迅速、容易に設置でき、被災地の位置詳細や必要物資などの情報共有、ドローンの飛行申請から自動離発着・運行までを一元管理できる「災害用ドローンポートシステム」をご紹介します。

【パートナー企業 | 京セラ 5G×ドローン】

京セラの5Gコネクティングデバイスによる高信頼な通信機能、高速な映像転送、エッジ解析、運行管理システムとのリアルタイムな連携により、ドローンビジネスをサポート。安心・安全なドローン運航を実現します。

元自衛官タレント かざりさんによる
屋内点検向け球体ドローン「ELIOS 2」デモンストレーション飛行
6月14日(月) 13:00~13:15/14:00~14:15(予定)



【ご参考】
かざりぷろじえくと公式 Web サイト
<https://kazariproject.com/>

■Japan Drone 2021 開催概要

会期:【国際展示会】2020年6月14日(月)~16日(水)／
【国際コンファレンス】2020年9月29日(火)~30日(水)
開場時間:10:00~17:00
会場:幕張メッセ展示ホール
主催:一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会(JUIDA)
URL:<https://ssl.japan-drone.com>

以上